

第11期東京都生涯学習審議会

第10回全体会 審議資料

令和3年2月12日

(オンライン会議)

第10回全体会 次第

1 開会

2 議事

(1) 事例紹介

「NPO等による青少年を対象とした取組に学ぶ③」
認定特定非営利活動法人育て上げネット 理事長
工藤 啓さん

(2) 審議

3 その他

4 閉会

2 議事

(1) 事例紹介

「NPO等による青少年を対象とした取組に学ぶ③」
認定特定非営利活動法人育て上げネット 理事長
工藤 啓さん



NPO法人育て上げネット

東京都生涯学習審議会（第10回）

東京都における今後の青少年教育振興のあり方について
- 子ども・若者を支える就労支援活動の現場から -

認定NPO法人育て上げネット
工藤 啓

自己紹介

名前：工藤 啓（くどう けい）

- ▶ 1977年 東京都福生市生まれ
成城大学中退、Bellevue Community Collage卒業
- ▶ 認定NPO法人育て上げネット理事長
金沢工業大学客員教授/日本大学・東洋大学非常勤講師
- ▶ 著書『無業社会』『大卒だって無職になる』
『NPOで働く』ほか
- ▶ その他
東京マンガレビューーズレビューアー
長男、次男、三男四男（双子）の父親
『双子妊娠がわかったときによむ本』



連絡：kudo@sodateage.net or Facebook/Twitterなど

法人紹介

育て上げネットが目指すもの

Vision

あるべき社会像


すべての若者が社会的所属を獲得し
「働く」と「働き続ける」を実現できる社会

※社会的所属とは：「安心」を実感し、「挑戦」できる関係性を有する場

Mission

果たすべき使命

若者と社会をつなぐ



若者支援事業



教育支援事業



学習支援事業

モバイルゲームの会社へ行ったよ！

夏恒例のサマーキャンプ！
今年はどこに行く？

夏

ご招待を受け大学へ！
学食もいただきました！

秋

遠足も遊びも
みんなで決めて
みんなで楽しむ！

冬

もちろんいつもの勉強は一生懸命

六本木ヒルズの会社におじゃま！

Confidence

子どもたちに
自信と肯定感を！

保護者支援事業



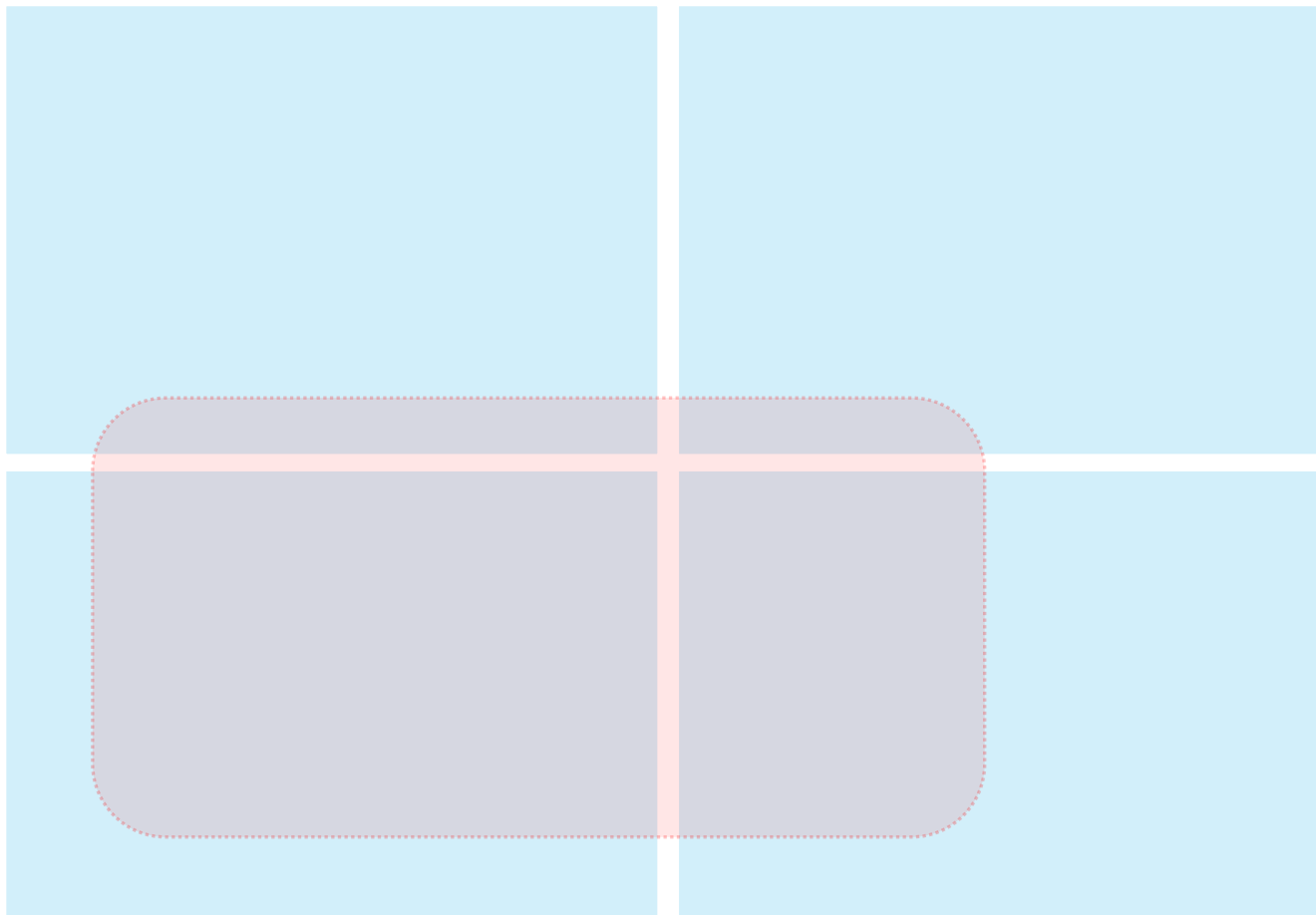
育て上げネットの活動領域 (赤枠)

ターゲット・アプローチ
(ハイリスク・アプローチ)

ユニバーサル・アプローチ
(ポピュレーション・アプローチ)

未来志向型

予防対策型



現場でかかわる若者像

- ・「生きづらさ」がある
 - ・社会の不備
- ・既存の環境では才能や可能性が育まれない/育まれづらい
 - ・「普通」「当たり前」
- ・それでも「居場所」や「働く」が視野にある
 - ・学校や「雇われる」以外の場所や方法

私たちが大切にしていること

家庭や地元/地域が機能しても
しなくても、そこにあってくれる
機能/場所や、受け入れてくれる
ひとの存在

就労支援

その人に合った「働く」を一緒に考え、
実現に向けて伴走すること

就職支援

- ▶ 「雇われる（採用）」がゴール
- ▶ 採用されるための支援/訓練

※ここでは企業側のあり方については言及しません

就労支援≠就職支援

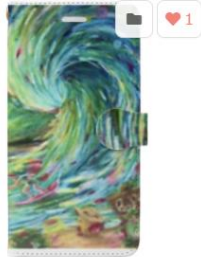
- ▶ 「働く（≡就労）」選択肢は多様
- ▶ 多様な選択肢を獲得する機会提供



- 若者個人の価値観を重要視
- 現状での「働く」と将来の「働く」で整理
- 選択肢を豊かにすることが目的

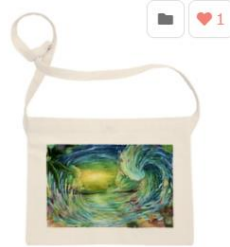
ひとりの男子高校生の話

新しい順 ▾



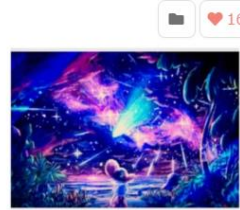
📁 ❤️ 1

Surfing with Daybreak
手帳型スマホケース
3,600円 2,900円



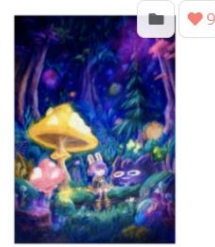
📁 ❤️ 1

Surfing with Daybreak
サコッシュ
2,780円



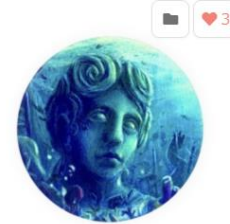
📁 ❤️ 16

星海越えし彗星よ
吸着ポスター
3,480円



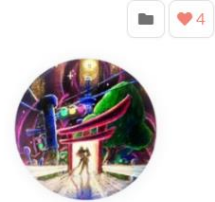
📁 ❤️ 9

奇矯の森 (吸着ターボリン)
吸着ポスター
3,480円



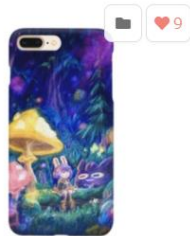
📁 ❤️ 3

沈んだ巨像
缶バッジ
770円



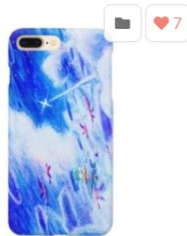
📁 ❤️ 4

Adventure Began
缶バッジ
750円



📁 ❤️ 9

奇矯の森
スマホケース
3,000円 2,300円



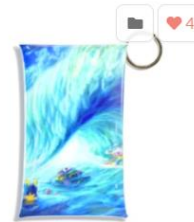
📁 ❤️ 7

雲の上
スマホケース
3,000円 2,300円



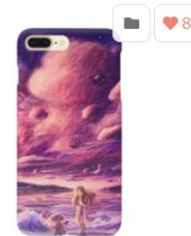
📁 ❤️ 4

とある海底遺跡
サコッシュ
2,780円



📁 ❤️ 4

he'e nalu
ミニクリアマルテケース
1,900円



📁 ❤️ 8

ふわ雲ザウルス
スマホケース
3,000円 2,300円

支援者の意識調査：法人職員 76名

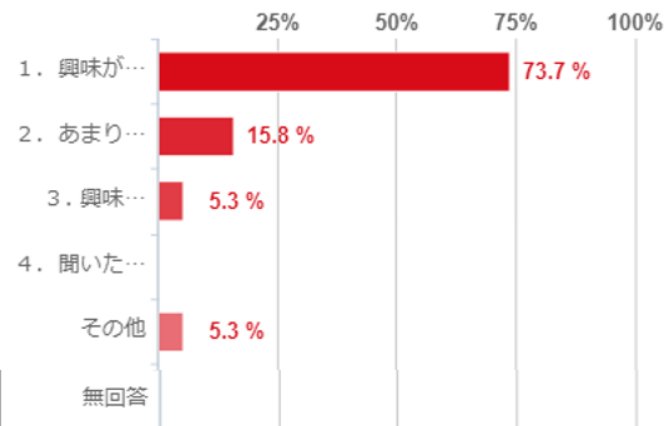
育て上げネットの職員アンケートより転載

これから以下の【A～F】のしごとについて、お尋ねします。

- A：不用品ネット販売(フリマアプリ).....メルカリ・ラクマ
- B：ハンドメイド雑貨・写真・音楽・小説・漫画
イラスト・デザイン等のネット販売.....BASE・ミンネ・PIXTA・LINEスタンプ
- C：クラウドソーシング
(在宅データ入力・軽作業・記事作成・アンケート回答など)
.....ランサーズ・クラウドワークス・Shinobiライターズ
- D：スキル/時間提供
(自分の経験・スキル・知識を販売する).....ココナラ・タイムチケット
- E：アフィリエイト
(ブログや動画の広告収入を得る).....You Tube・Googleアドセンス・A8.net
- F：非雇用型販売・サービス業.....販売・ペットの世話代行・家事代行 など
※Fの販売/サービス業とは「雇われない」直接販売を指します。例：フリーマーケットやワークショップでの販売等

Q4.

あなた自身は上記【A～F】のしごとに興味がありますか？
(回答数: 76)



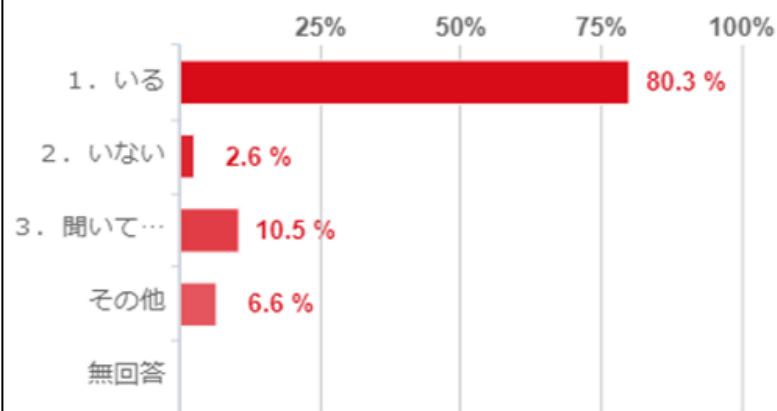
支援者の意識調査：法人職員 76名

育て上げネットの職員アンケートより転載

Q5.

あなたが支援している若者には上記【A～F】のしごとに興味がある若者がいますか(いましたか)

(回答数: 76)

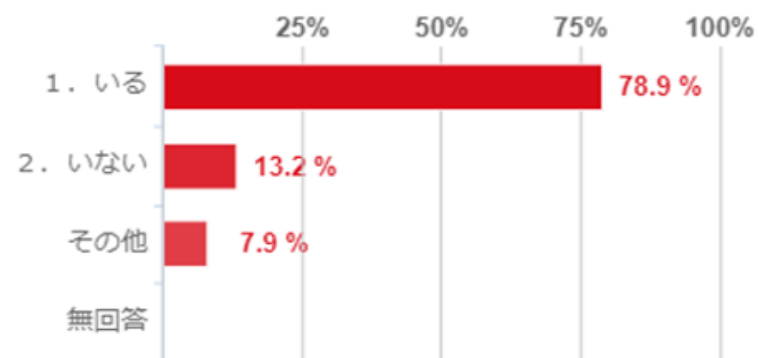


Q6.

あなたが支援している若者には上記【A～F】のしごとを紹介したいと思える若者がいますか？

(本人の興味がある/なし関係なく、しごとの選択肢のひとつとして・来所のきっかけになるツールとして)

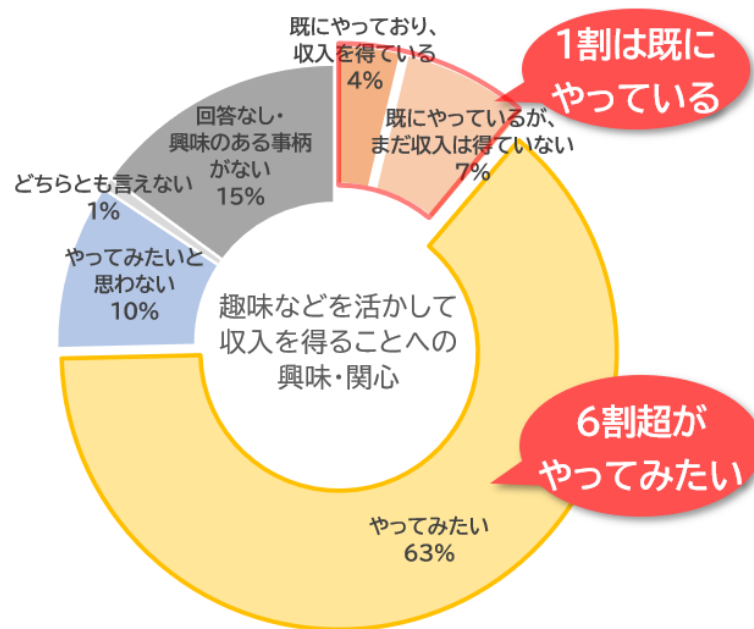
(回答数: 76)



若者の意識調査：若年無業者・若年労働者への新型コロナウイルスによる影響に関するアンケート調査（非公開箇所, n=134）

「就職」以外の働き方への関心

ハンドメイド・動画制作・アプリ制作など、就職を目指す以外の活動で収入を得ることに對しては、1割が既に挑戦しており、加えて6割が興味があると回答した。



具体的に興味のあるもの・活動

1位	モノづくり (ハンドメイド品全般)
2位	動画制作・編集
3位	アプリ制作・プログラミング
4位	クラウドソーシング(ネットで完結できる仕事の受注)
5位	写真撮影
//	投資(株式等)
6位 ~	Youtuber・Vtuber(動画配信) ネットフリマ(不用品等の販売・転売) ライティング(ジャンル問わず文章作成) e-sports 音楽制作 イラスト制作 デリバリー(UberEats等)

事例

BASE 機能紹介 | デザイン | 集客・販売促進 | ショップ事例 | オーナーインタビュー

ショップ開設 ログイン

ネットショップ開設実績
3年連続 **No.1**。
ネットでお店を開くなら
BASE 無料

メールアドレスをご入力ください
info@example.jp

パスワード
英数字8文字以上

ショップURL
https://ショップURL(文字以上) thebase.jp

利用規約・プライバシーポリシーに同意の上、ご利用ください。

無料でネットショップを開く

CM 公開中!

CrowdWorks 仕事を探す クラウドワーカーを探す

働きたいはこちら ログイン 会員登録 (無料)

事務作業・デザイン・記事制作・システム開発 など

どんな仕事も、
簡単ネット発注。

No.1 国内シェア 数年間 No.1 連続
300 万件 仕事発注数

働きやすさ・暮らしやすさ
テレビCM放映中!
CM キャンペーンはこちら

Otsukai ログイン 新規登録

【提案前にご確認ください！】国際郵便の引受停止に関して

世界中のリクエストにこたえよう！

日本ポップカルチャー専門の越境おつかいサービス

新規登録

Timee お知らせ よくある質問 求人掲載について 企業様ログイン

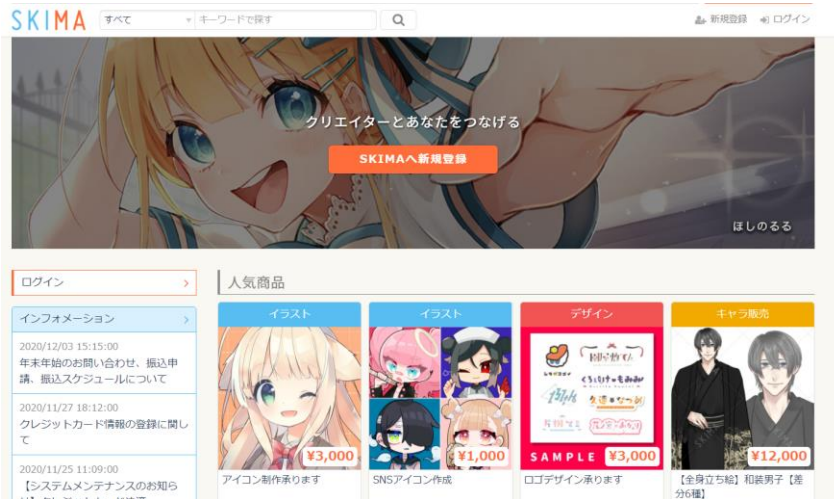
ダウンロード数 **No.1!**

スキマバイトは
タイミー

導入を検討中の店舗様へ
「対応業種は？」「募集方法は？」
気になる疑問を1分で解決！
資料ダウンロードはこちら

Download on the App Store GET IT ON Google Play

事例



ジャンプルーキー! 作品をさがす ルーキー一覧



What is ストアカ?



青少年教育振興に期待する観点

- ▶ 多様な「働き方」の選択肢を獲得できる機会提供
- ▶ 創造・発信できる十分な環境提供

- ▶ 「働く」を試せるワークサンプル機能
- ▶ 安全に「稼ぐ」を手に行える職場提供

- ▶ ここではないどこかを実現できるトリップ機能（島しょ連携）
- ▶ 逃げ場・駆け込み寺としての「断らない」生き延びられる社会的機能

参考

contents



育て上げネットにおけるオンライン セミナーの模索

オンライン セミナー実施に向けた“セミナーの効果”再確認

オンラインセミナーの分類と特徴

育て上げネットでの事例と種類（事例マッピング）

1 オンライントレーニング

2 オンライン居場所

3 オンライン学習支援

4 オンライン講座 eラーニング形式

5 オンライン講座 セミナー形式

6 動画配信

7 リアルエクササイズ

8 オンライン説明会

オンライン模索のなかで気づかされた知見

参加者たちの反応

現時点でのオンラインセミナーの可能性

育て上げネットにおける オンライン セミナーの模索

新型コロナウイルス感染症による
面談・講座等の自粛

緩和

2020.7月時点の状況

来所での
面談・講座等の部分実施開始

結 [ゆい] オンライン相談の実績

育て上げネットの保護者支援部門
5年前より保護者対象のオンライン相談を行っており、
地方や海外からの相談を受けている経験がある。
オフライン会場での講師オンライン出演、
個別相談会におけるオンライン面談も実施。

- 自粛期間以前も以降も継続
自粛・緩和にかかわらず、
継続・拡張

オンライン面談開始

オンラインインテーク
開始

- 対面+オンラインの2本立て
オンラインにより、
これまで出会えなかった層の若者に
リーチできることから
相談者がどちらかを選択する
2本立てで、インテーク・面談を実施

オンラインセミナー
模索開始

当初は自粛のため
やむにやまれずスタート

- 各事業所が模索中
各事業所は、
対象者やサービス内容が違うため
オンラインセミナー共通の
ルール・方式を作りにくい。
まずは、各事業ごとに模索している。

オンライン セミナー実施に向けた“セミナーの効果”再確認

育て上げネットが考える「セミナーの効果」を、オンライン講座でいかに実現していくか、考慮しながら実施した。

育て上げネットが考える「セミナーの効果」



オンライン実施に向け考慮したこと

- 参加者同士の**グループダイナミクス**や**偶然性**をどうやったら実現できるか（双方向性の実現含む）
- 各参加者のスキルや講座受講状況に合わせて、講座を行う上での**スピード**や**伝え方を調整**できるか（オンラインでカメラをオフにされている場合どのようにするかなどを含む）
- どうすれば**啓発的経験**になりえるか

● トライして、効果を評価・測定しよう
● 不具合やトラブルは都度解決しよう

オンラインセミナーへのチャレンジ

育て上げネットでの事例と種類

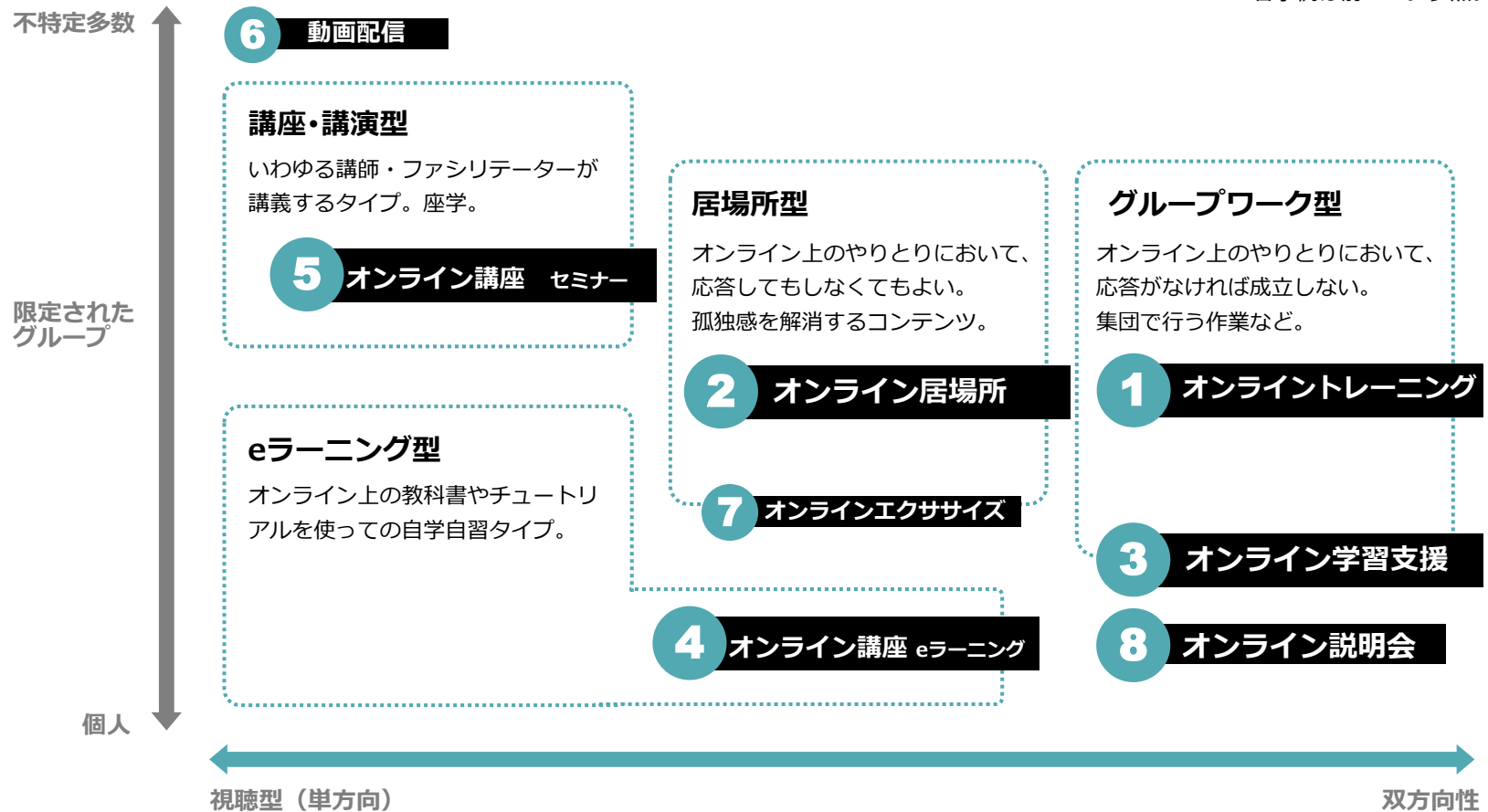
	プログラムのタイプ	目的	期間	対象	双方向性	主な方法
1	オンライン トレーニング	修了後の就労 ITに特化した 就労基礎訓練プログラム	4カ月 (週2~4日)	グループ 固定メンバー (プログラム申込者)	常時あり	グループでの WEB会議とチャット
2	オンライン 居場所	来所できない/しづらい メンバーとのつながり維持 通信制・定時制高校生の 居場所機能	対象者の在籍期間 (最大1年) (週4日1回約1時間)	登録者のうち その日の 参加希望者。 予約は取らない。	常時あり (ただし発話したくない メンバーはしなくても 良い)	グループでの WEB会議とチャット
3	オンライン 学習支援	来所できない/しづらい メンバーへの学習支援と つながり維持 中学生向け学習サポートと 居場所機能	対象者の在籍期間 (最大1年) (週2日1回約2時間)	登録者のうち、 開催曜日の 参加希望者個人。 事前予約。	常時あり	大・小グループでの WEB会議とチャット
4	オンライン講座 (eラーニング形式) 録画動画視聴&WEB講座	オンライン学習 (eラーニング方式)を 経験しながらスキル習得 サボステ利用者向けPC講座	約1週間 (1時間×3回+自学自習)	申込者 (事前申込)	一部あり (WEB会議のとき)	グループでのWEB会議 +動画視聴 (eラーニング)
5	オンライン講座 (セミナー形式) 動画ライブ配信&チャット	来所できない/しづらい 対象への機会提供 家族向け子どもへの対応講習	1回完結 (数ヶ月に1回、1回約2時間)	申込者 (事前申込不要)	一部あり (視聴中のチャット)	動画配信 +チャット
6	【そのほか】動画配信	興味喚起・情報提供	随時	関心を持つすべての人	なし	動画配信
7	【そのほか】 オンラインエクササイズ	メンバーとのつながり維持	各事業所で異なる	登録者の内希望者 予約不要	常時あり	WEB会議
8	【そのほか】 オンライン説明会	説明会とオリエンテーション	希望者がいる場合	申込者 (事前申込)	常時あり	WEB会議



オンライン セミナーの分類 (事例マッピング)

ひとくちにオンラインセミナーと言っても幅広い。
育て上げネットでは、個人・集団・不特定多数に対して、
オンラインを通じて、学び（ワーク）を促すものを「オンラインセミナー」とした。

各事例は前ページ参照。



1 オンライントレーニング

IT版就労基礎訓練プログラム。

4カ月の期間限定で、ITスキルを学び、ITしごと体験をグループワークで行い、IT企業へのインターンを経て、就労を目指すプログラム。

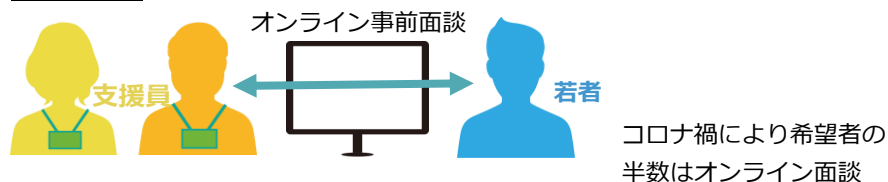
第15期は3月募集4月～実施だったため、参加前の個別面談は部分的にオンラインで。

1～2カ月目のカリキュラムであるITスキル習得学習はすべてオンラインとなった。

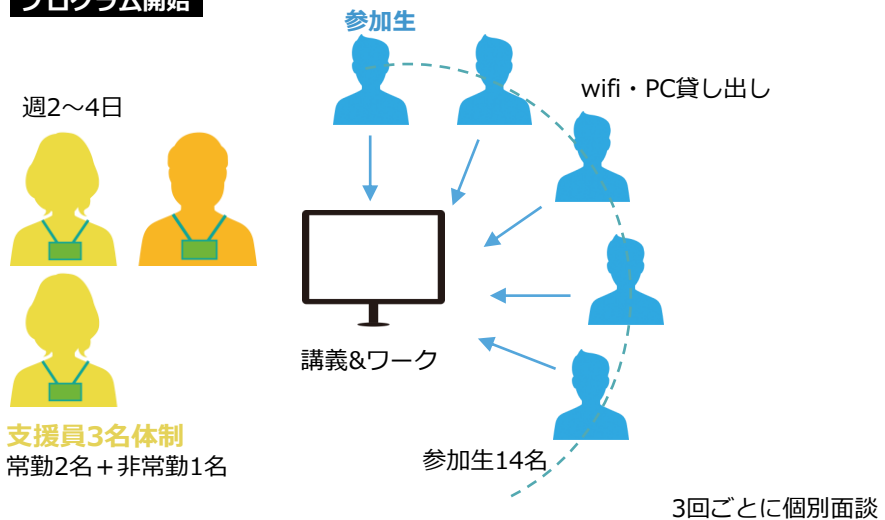
もともとオンライン化する構想もあったため、今回をチャンスととらえた。

7月からは、オンラインでルーム分けを行い、グループワークでITしごと体験にチャレンジする予定。

事前面談



プログラム開始



実際の状況

事前準備

● 事前面談

このときは顔出ししてもらったが、「以降は顔出しNGもあり」を伝える。「参加が適切か」を判断するだけでなく、オンライン環境も確認。

● 環境準備

オンライン前提だったため、自宅に環境がないメンバーにはwifiやPCの貸し出しを行う（要誓約書）。環境の設定・準備に1カ月を要した。

プログラム

● 全員が顔出しNGに

自己紹介時から全員が顔を出さない状態でスタート。支援員は相手の存在をたしかに感じられないまま、講義を行うことに。

● チャットでのコミュニケーション充実

オンラインゲームに慣れている参加生が多く、支援員の講義の最中も、チャットで意見交換が交わされ、質問も出された。（わからない参加者へのヘルプをほかの参加者が行うことも）支援員は2人体制で、1人は講義、1人はチャットに返答しつつけた。

● 進捗は従来の1/3～2/3

参加生が理解しているかどうかわかりにくいため、進行が遅くなった。対面時、毎回行っていた個別面談は、3回ごとにせざるを得なかった。

2 オンライン居場所

※NPO等と連携した学びのセーフティネット事業で実施（東京都教育庁より受託）



通信制・定時制高校生の課題やレポート提出のサポートを中心に、毎日通うモチベーションとなるようなイベントやサークル、遊びを行っていた居場所。3月に学校が閉鎖となり、課題やレポートなども出されないまま、春休みに突入。居場所も閉鎖となったため、メンバーの孤独感解消や息抜きのためにオンラインで集合。派生してオンライン上でサークル活動も行っている。30人登録でオンラインに集まるのは10人ほど。レポートや課題が出されはじめたため、学習サポートは継続。オンライン上の居場所は限定開催するかもしれない。



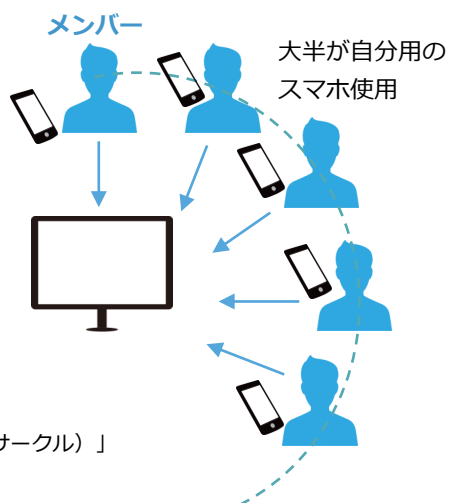
実施形態

週4日・1回1時間



支援員

オンラインゲーム
雑談（趣味について話す会）
絵しりとりゲーム……など
ここから派生して
「LINEスタンプの会（絵を描くサークル）」
「マイクラフトの会」など



アルク登録者は30名だが、参加は10名ほど
アルバイトやほかのことに忙しく、わざわざオンラインで集まるほど孤独感を抱えていないメンバーもいた。

実際の状況

事前準備

●現状のアンケート

学校閉鎖、「アルク」閉鎖時に、登録生の保護者宛に現状の様子について、アンケートを実施。ニーズのあることを確認。

●環境準備

ほぼ全員がスマホを持っていたため、特に環境整備は行わなかった。スマホで使いやすいソフトを選択（zoom使用）。

実施

●他団体の実施を参考に

オンラインの居場所づくりについて、知識がなかったため、他団体の取り組みを参考にした。

●オンラインゲームを有効活用

目的を明確に（「役割を担う」など）して取り組めば、ゲームでも成長を促すことができる。

●孤独・不安感が強いメンバー（家にこもりがち）が集まる

この居場所以外にも“場”を持っているメンバーは不参加。自粛状況の中、「人と話したい」「生活にリズムが欲しい」メンバーが集合。

●当初は午前実施も午後実施に移行

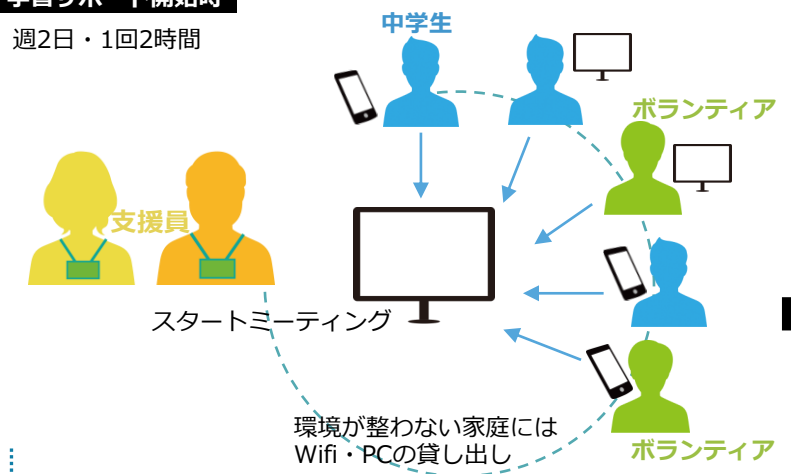
生活リズムを整えるため、午前に実施していたが、メンバーの集まりが悪いため、午後実施。生活リズムの維持や改善にはつながらなかったが、参加者は増えた。

3 オンライン学習支援

ある自治体の事業として、市内4カ所の会場で、週1回約2時間行われていた、中学生向け学習サポート。学校閉鎖になり、会場も閉鎖となったことから、オンラインで行うことを決定。保護者に向け案内をし、各家庭の環境を整え、6月よりオンラインで開始。4つの会場をまとめ、いっせいに実施。年度替わりで支援員、ボランティアの大半が入れ替わり、お互いにオンラインで初対面ということもあった。今後もオンラインを継続していくかは自治体とも協議中。

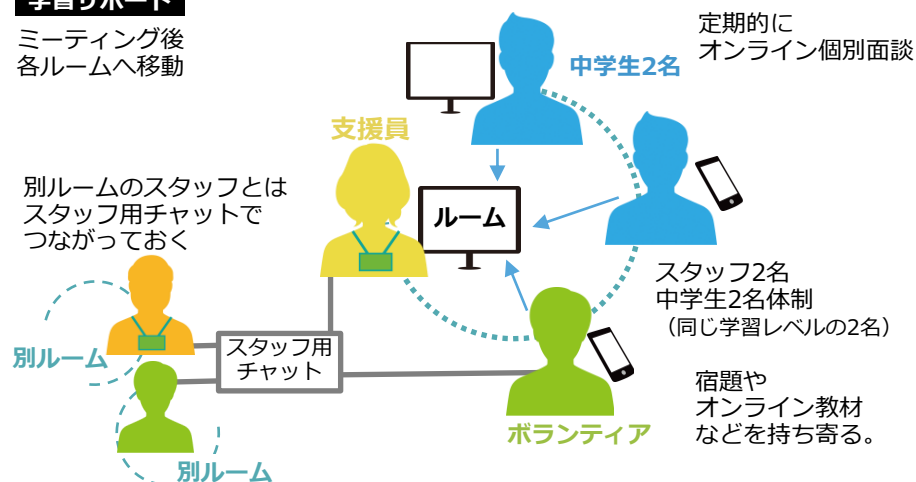
学習サポート開始時

週2日・1回2時間



学習サポート

ミーティング後
各ルームへ移動



実際の状況

事前準備

- **保護者への連絡と協力依頼**
オンラインにアクセスするとき、保護者につないでもらう必要あり。
- **環境準備**
必要に応じて、wifiやPC・タブレットを貸し出し。

実施

- **法人内職員だけでテスト**
まずは職員だけでテスト実施を行い、その後、ボランティアに参加依頼。
- **スタッフのヘルプ用に「スタッフ用チャット」を用意**
会場と違い、スタッフ同士の教え合いができないため、別のルームにいながらもスタッフ同士でチャットができるように設定。
- **面談開始直前にURL配信でリマインド**
個人面談開始の直前にURLを配信したことで、面談欠席はゼロに。
(来所・対面での個人面談ではドタキャンが多かった)

4 オンライン講座 (eラーニング形式)

セミナーや講座等が中止になり、PC講座もストップ。

もともと、育て上げネットでは、PC講座やビジネスマナー講座を自学自習できるよう

eラーニングキットをweb上にストックしていた (Youth Job Academy)。

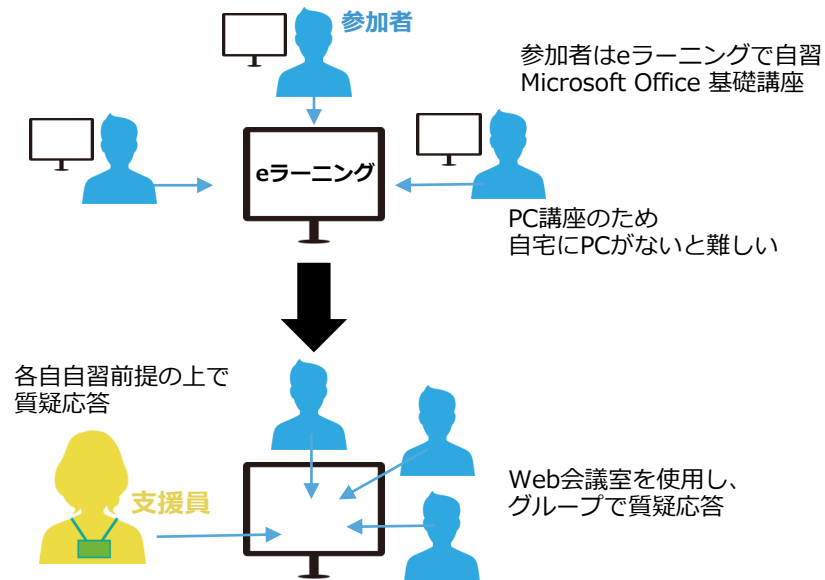
セミナー・講座中止以降はeラーニングに移行していたが、学習方法の説明 (ガイダンス) や質疑応答をオンラインでできないかと模索。

ニーズはあると予想していたが、実際の申し込みは数名だったため、手法を検証中。

また、eラーニングと対面を組み合わせる講座を企画中。

模索形態

募集→ガイダンス→自学自習→質疑応当日→自学自習→まとめ



実際の状況

事前準備

● 告知状況と集客

すでにサポステでPC講座を受けたことがある若者に対し、

「ステップアップ講座」として告知。

受講者が集まらなかった要因としては、そもそも告知ターゲット層に「ステップアップ」のニーズが少なかったとも考えられる。

また、自宅にPCを持っている若者が少ないこともあるかもしれない。

● 「eラーニング+対面」の可能性

従来、座学として行っていた部分をeラーニングで自習してもらい、その上で、来所・対面にて補足説明や実践を行う講座を模索中。

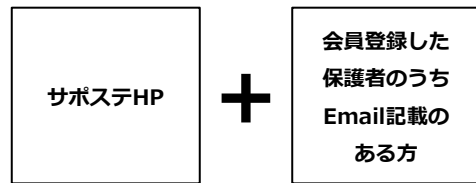
→実際に、来所してもらって行った「PC講座自習コーナー」は、
(PC貸与・基本的に自習だがスタッフのフォローあり)
多くの若者が集まった。

5 オンライン講座 (セミナー形式)

育て上げネットでは、ある自治体の保護者対象ワーク事業として、サポステが中心となり「親ゼミ（オフライン）」を年間10回程度行ってきていた。セミナー・講演等が中止になる中、保護者相談事業である「結」が積極的にYouTube動画配信などを行ってきた経緯もあり、「親ゼミ」をオンラインで行うことを模索。YouTubeでのリアル動画配信を行った。今後は、オフラインでのセミナー開催とともに、その様子をネットで同時配信することになっている。

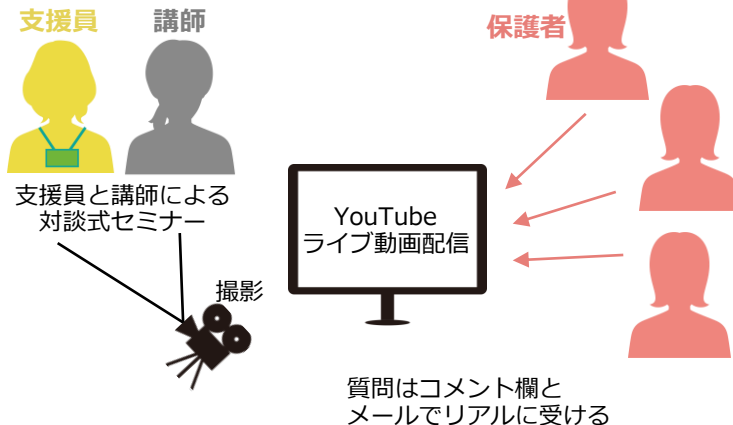
告知

単発（1時間）



予約申込不要・開催日時とURL告知

実施



実際の状況

事前準備

● オンラインセミナー告知

対象が保護者世代のため、「集客できなくても仕方ない」と割り切り、関係性のある保護者への告知と、HPでの告知のみに絞り込んだ。

● 環境準備

保護者世代対象のため、「クリックするだけで視聴できる」ことにこだわり、YouTube配信を選択。また、質問を受けるためリアル配信とした。

実施

● リアルタイムに33名視聴。アーカイブも好調。

多くの保護者がリアルタイム視聴（従来の対面では定員20名）。アーカイブをアップしているが、それも視聴されている。

● 質問は低調。見ながら書き込むのは難しい？

質問はまったくなかった。

YouTubeのコメント欄記入にはアカウントが必要なため、躊躇があったかもしれない。

また、視聴しながら、メールを送ることも難しかったのかもしれない。

6 動画配信

育て上げネットは、Youtubeにチャンネルを持ち、たくさんの動画をアップし、アーカイブしている。



動画の種類

- オンライン講演会
- ゲーム実況
- 職業人講話
- 支援機関紹介
- ちょっと稼げる仕事紹介 (働き方拡張)
- ウェビナー配信……



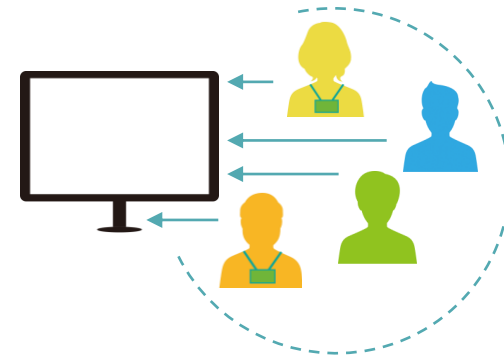
そのほか、利用者限定の動画もアップしている。



7 オンラインエクササイズ

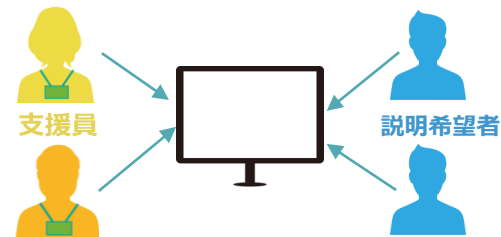
各事業所の利用者や職員限定で、同じ時間、オンラインの指定場所に集まり、ラジオ体操をしたり、筋トレを行ったり……。各所で行われた。

時間と場所を決めて、みんなで集まり、同じことを行う。



8 オンライン説明会

各支援サービスの説明会、オリエンテーションをオンラインで。従来、来所で行っていたものを人数を1~2名に限定した上で行った。



説明希望の若者にとってはどんなスタッフがいるかわかり、「行ってみよう」というモチベーションが高まった。

オンライン模索の中で気づかされた知見



即時性

きめ細やかなサポートが難しい

- 参加者の様子が見えず、反応が拾えない・観察できないため、即時フィードバックするには限界がある。
→即時ではないが、チャットを使用して補うこともできる。
ただし、文字情報が保存されるため、参加者は書き込むことに慎重になりがち。

会話（言葉）に正確さが求められる

- 指示語（これ、それ、あれ）が使えないため、会話にもどかしさがある。
- 正確に話しかけなければ、参加者はうまく応答できない。



偶然性



集団力学

グループダイナミクス

偶然の出会い・メンバー同士の交流が難しい

- 全員で同じテーマを話すことが多く、内容も本題（例えば学習内容）だけに絞られやすい。
集中しやすい一方で、雑談やちょっとした会話が生まれにくい。
→ルーム利用もできるが、偶然性は少ない。



効率性

理解の進捗をはかるのに時間がかかる

- 非言語で確認できないため、対面に比べ倍以上の時間がかかる。

支援員の緊張感・疲労感が高い

- 何もかも言葉で伝えなければならないため、疲労する。
- ずっと見られつづけている緊張感がある。

時間・場所の制約を受けない

- 出かける手間がないため、利用頻度が上がる傾向。
- その内容について最もうまくやれるスタッフの説明を聞くことができる
→たとえば、その内容を教えられる人が拠点にいなくても、オンラインであれば参加者に提供できる。
- 保存されているものがあれば、いつでも、どこでも、参加できる。



啓発的体験

保存性が高く、何度でも繰り返し見ることができる。

- eラーニングや講習等は、参加者自身のテンポで理解をすすめられ、納得いくまで見ることができる。

参加希望でない人を巻き込む力がある。

- 自宅から参加する場合、参加者以外の家族も見ると聞くと聞くとある。
→保護者セミナーなど、父親の参加を引き出すことができる。

参加者たちの反応



● 「顔出し」「部屋がうつる」ことへの抵抗感は大きい

特に、対人関係の苦手な若者や思春期の中高生にその傾向は強い。
「自分の顔が、手元の画面にうつるのもイヤ」という人もいた。
また、集団圧力がかかり、何人かが「顔出しNG」の場合、
もともと「顔出しOK」の人までもがNGとなるケースもあった。

● 参加にあたっての緊張感が少ない

来所・対面のセミナーに比べて、参加者の緊張感は少ない。

● 反応することが難しい

集団の場合、声を出して反応するタイミング、チャットに書き込むペースなどがつかみづらい。
(オンラインゲームをする参加者は、チャットに慣れていた)

● オンライン・オフラインを使い分けたい

グループワークを伴うもの、メンバーシップが確立しているもの、
「通う体力を養いたい」「家から出たい」人は来所・対面を選ぶ傾向にある。
個別面談等はオンラインを選ぶ人が多い。

● オンラインは個々の環境（デバイス・通信状況・自宅環境）に左右されやすい

通信環境が整っていない家庭にはwifi・PC等を貸出したが、貸出にも限界がある。
通信環境があったとしても、頻繁に途絶える家庭、通信制限が厳しい家庭などもあった。
また、自宅でほかの用事をしなければならず時間が取れない場合（家事の手伝いや兄弟姉妹の世話をする若者）、
自分だけではオンラインにつなげられない場合（中学生など）、自分の声を聞かれない場合……など、
自宅環境により、参加しづらい場合があった。



現時点でのオンラインセミナーの可能性

模索から抽出したキーワード

アーカイブ（保存性）

リアルで行ったもの、録音したものにかかわらず、保存性が高く、オンラインで行っていたことを録画するだけで蓄積していける。

自習・予習に便利

eラーニングや動画を使えば、自分のペースで何度でも学べる。学習・スキル習得だけでなく、支援機関や支援サービスの紹介動画など予め見ておくことができる。

少人数に適す

大人数でのグループダイナミズムをつくるのは難しいが、少人数なら、じっくり、ゆっくり関われる。

距離・時間・場所を問わず

物理的な制約がないことは最大の魅力。デバイスと通信環境さえあれば、いつでも、どこでも、行うことができる。

参加者は対人緊張感が少ない

支援員やスタッフの緊張感はあるが、人に対する緊張感が少ないまま参加できる。対人関係が苦手な若者も参加しやすい。

●すべてのセミナーのオンライン化は難しい。

オンライン面談や来所・対面でのグループワークなどと組み合わせることで、大きな力を発揮するのではないか？

●支援員はセミナー自体の本質を見抜くことが大事

セミナーや講座の「何」がもっとも重要なのかを知り、その上で、オンラインや対面などの方法を選択するべきではないか？

すべての若者が社会的所属を獲得し、 「働く」と「働き続ける」を実現できる社会



若者と社会をつなぐ

2 議事

(2) 審議

- ・青少年のキャリア教育支援におけるターゲットアプローチについて
- ・キャリア教育における都の役割について

3 その他

4 閉会

ありがとうございました。